

★技術ジャーナル ④⑤

人工授精

諸岡 博 熊

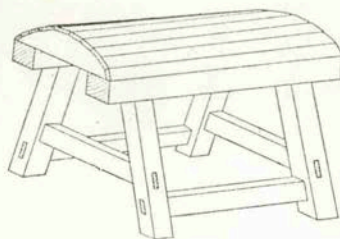
△神戸市企画局調査部副主幹▽

家畜の改良、増殖、畜産物のコスト引き下げを目的に今世紀になって家畜の人工授精技術が確立された。帝政ロシアのイワノフが軍馬の改良のためモスクワ中央家畜繁殖研究所長（のち革命政権がつくった）となりソ連はその最先進国として人工授精法の父を生み出した。日本ではこの技術を積極的に受け入れた。普及率は今日牛が九十三パーセント、豚が二十二パーセントといわれる。ただし、人工授精の操作は有資格者でないとやれない。

人工授精の方法はかなり獣権蹂躪で「擬牝台」の上に種雄蓄をのせ、わきにひかえた人工授精師がす早く人工腔に射精させる。（人工腔は金属かプラスチックの外筒とゴムの内筒との間に温湯が入っている。）他の方法に電気刺激法がある。電流で射精中枢を刺激する。羊の場合には、針極を方四、方五腰椎の皮下に刺し込み、純極を肛門内に約一〇センチ挿入して、二五〜三〇ボルト、五〇〜一〇〇ミリアンペアの交流を五秒間

通電し、一〇〜二〇秒休みまた五秒間通電する。そして射精するまでこれをくりかえす。この際家畜は強直し、鳴声を発しまさに拷問である。

採取した精液は精子が健在かどうかその数を検査し、卵黄を主成分とする稀釈液でうすめ、超低温で長期貯蔵する——液体窒素を使用。雌畜の体内への注入は非情な「注入器」とよばれる器具——人工授精師が能率よく安全確実に精液を注入できるように徹して作られたものを使用する。



擬 牝 台

種別	畜種	一回の射精量	精液（一ミリリットル中の精子数）	注量	一回に注入される精子数
豚	六頭	一億	一億	一億	一億
馬	二頭	一億	一億	一億	一億
牛	六頭	一億	一億	一億	一億

豚一匹で牛乳ピン一本に入りきらない大量の精液がでるが、平均四三八億の精子しかふくまれていないから、生のままで使用すると大体四頭分、稀釈しても八〜一二

頭分で一回約五〇億の精子を送り込む勘定である。したがって、豚の場合約一〇個の精子が厳密な意味での目的を果たすこととなり、一回の射精で一〇頭でいど授精できることとなり、受胎数が増える。また、外国の優良種畜の精液を輸入して国内の家畜改良に役立てることができる。（品種改良のすすんだ今日では優良種畜は高価なものであるから、それが産出する精液も思いのほか高い。）

さらに、人工授精の効果は、家畜の性病が防げることである。たとえば、トリコモナス原虫症は日本の牛にとって典型的な性病で、自然交配で伝染する。しかし、人工授精の普及から、家畜の健康管理、精液の採取、検査、貯蔵、輸送、注入など一連の作業が厳格な注意の下におかれるため、受胎率が高い。

哺乳類の雌には一豆の間隔を置き顕著な発情期がめぐってくる。その際の雄の求め方もかなり烈しい。したがって、願いのかなったときの喜びは雌雄とも決して小さくない。デンマークや日本では小さかしい人工授精師がチョコチョコと注入するので、牛は雌雄ともほとんど本物を知らない。自然をとりもどそうするのは公害に悩む人間だけのものではなさそうだ。

あ け ま し て
お め で と う
ご ざ い ま す



今年も贈り物にはぜひ
チョコレートをご利用
下さいませ。

チョコレート米キャンデー

ゴンチャロフ

神戸市生田区加納町 4 丁目 1
サンチカスイーツタウン ☎(39) 3563
神戸商工貿易センタービル ☎(25) 0236



71 年型

メガネをリードする

モリカワの

オリジナルフレームと

サングラス

S I N C E 1877

めがねの

モリカワ

さんすう 1 階・京町筋

(078) 33-7134・39-0383

ダイナース・JCB・UC・DC
住友カード・神戸クーポンご利用下さい

GENERAL  ELECTRIC

すべてのお料理の為に24インチ巾の
スペースしかないガスレンジ!!



輸入家庭電化製品神戸唯一のGE特約店
輸入電化製品の修理も致します。

リイチ 産業K. K.

三宮・トア・ロード TEL 078 (33) 8673

人間味あふれた
手づくりの美しさ...



インテリアの



不二屋

ショールーム 神戸市生田区三宮町3丁目5番地
<トア・ロード> 神戸 (078) 39-0535 (代)
葦合工場 神戸市葦合区旭通1丁目10番地
小東山工場 神戸市垂水区多聞町小東山975ノ1



入船設計施工 トアロード喫茶 るぶらん

'71のまいしょっぷ

あけましておめでとうございます

1971年のあなたのMy shop planは？



店舗設計施工
マンション新改装
家具

インテリア イリフネ

神戸市灘区友田町5丁目2番2号 TEL (85)3191~4

イリフネ

□座談会□

神戸に能楽堂を建てよう

沼 艸雨〈能楽評論家〉

竹馬準之助〈竹馬産業KK社長・神戸商工会議所副会頭〉

藤井 久雄〈兵庫県能楽協会理事・神戸観世会理事〉

★神戸には、戦後以来いまだに本格的な能楽堂と呼ばれるものがない。湊川神社内にある能舞台と上田能舞台の二つだけである。

いま漸く湊川能舞台を新改装して本格的な能舞台を建てようという機運が生れ、本格的に動き出そうとしている。

そこで、藤井久雄氏、沼艸雨氏、竹馬準之助氏の三氏にお集りいただき、能楽堂建設への動きと可能性について、いろいろお話をうかがってみた。
(編集部)

★高砂、松風、敦盛、求塚など
神戸は名曲ゆかりの地が多い

藤井 神戸と能楽といえば、京都奈良につぐ名曲ゆかりの地が多いということがあげられます。「高砂」「敦盛」など名曲が数多く、十いくつがあります。そういうわ

けで、神戸の能楽は根が深いですね。私は昭和十二年頃から神戸へ来たので、あまり古いことは小耳にはさんでいる程度しか知りませんが、昔は手塚亮太郎さんがずいぶん活躍されたようです。

沼 私が初めて神戸で能を見たのは昭和六年のことです。湊川神社の能舞台で、観世華雪さんが演じられた時です。華雪さんというので、わざわざ大阪から見に来て、それが幸いに湊川の能を見せてもらった因縁です。

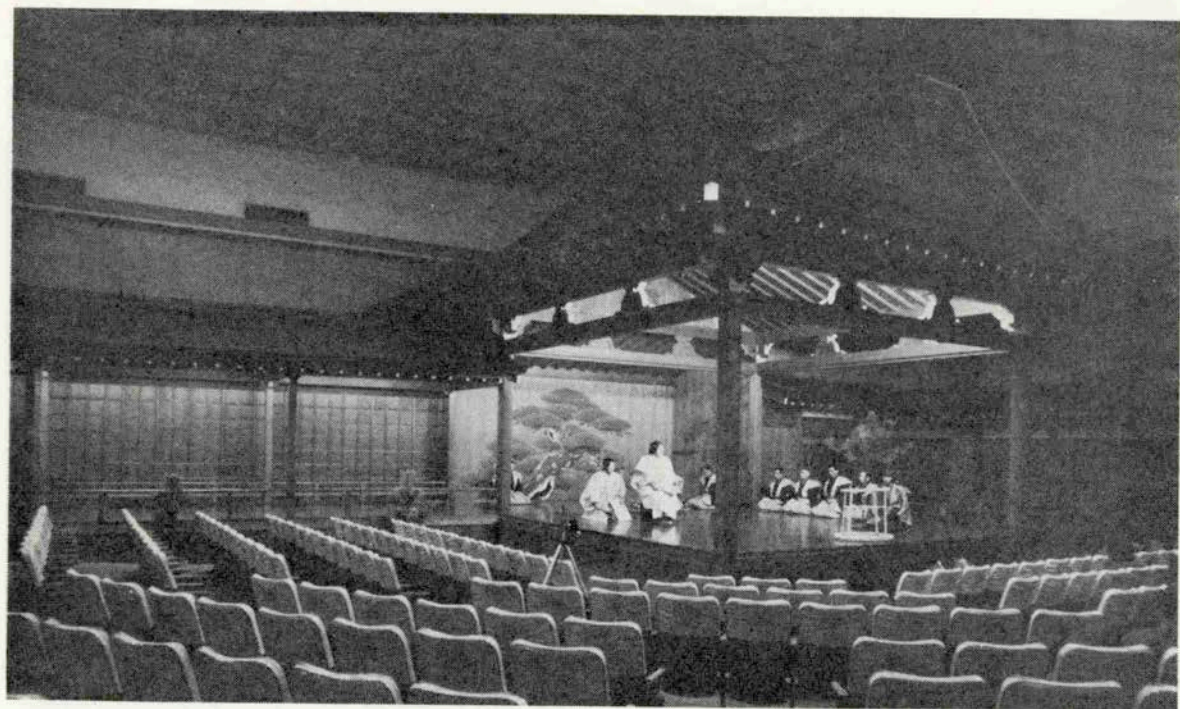
その時は、華雪さんを中心にした紳士能でした。神戸は紳士能が非常に盛んでしたね。古いことは知りませんが華雪さんと呼んでやったということは、相当皆さんやってらしたんじゃないかと思えます。そして玄人としては、先ほどおっしゃったように手塚亮太郎さんが湊川の能舞台を中心に、現在

の手塚門下の人たちを養成してわに盛んでしたね。

藤井 一方では手塚さんが大将、もう一方では伊東隆三郎さんが大将という状況だったらしい。昔は今と違ってゴルフというものがありませんでしたから、旦那衆も必ずといっていいほど能・謡をやっておられたようです。

沼 当時の代表的レジャーであると同時に、教養としてやらなければならぬ一つの看板でしたね。

竹馬 戦前に、私の先代が能楽堂を建てたその動機はよく私もわからないのです。謡は古いんですけど、非常に下手な謡でね(笑)謡うたいながら能やった方がどうも自分にしっくりする、そう思ったらしい。だいたい極道の好きな人だったのが、極道もできんようになって、能の方に進んだのが事実だと思えます(笑)



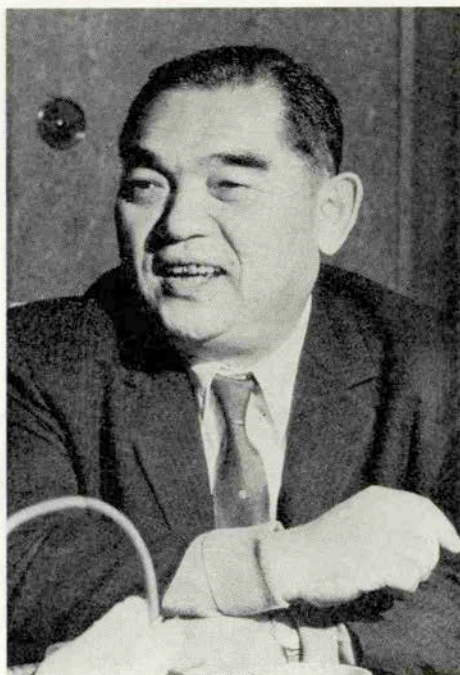
大阪能楽会館

私がまだ京都の大学におる時に親父がともかくおまえは遊ぶもの決つとるからって、無理矢理下宿に先生を呼んで、稽古されたいですわ。そんなわけで今はうたいませんが、私も謡は古いのです。それぐらい好きな人でしたから、能楽堂を建てようという気持になったんじゃないかと思っています。幸い造費が早く集まりまして、山手に能楽堂を建造することができました。

その頃、藤井先生の前でおかしいですが、先代の話ですけど藤井さんのところに偉い立派な息子ができた、これは見込みがあると評判でね(笑)しかし今日、親世といわず、流儀は別として能が非常に盛んになった推進者は藤井先生だと、私は思うんです。ほんとに神戸の能楽界を何とかしようと心がけてきた功績は大変大きいと思います。

藤井 しかし、竹馬の先代の造られた能楽堂は戦災で焼失してしまい、期間が短くて残念でしたね。ちようど九年間ぐらい使用したと思います。

竹馬 戦後は、うちの先代も死んで、後継ぐ人が出て来なかったのと、われわれもそこまで深い趣味もないしということで、立ち消えになってしまいました。今度能楽堂を造ろうということになったの



〈藤井久雄氏〉

は、ほんとに喜ばしいことだと思います。幸い神戸のトップクラス

の人が非常に理解を持っているし、県も市もようやく具体的に文化方面に乗り出して来ました。ほんとうに良い機会ですね。

編集部 戦後できた日芸会館も結局運営がうまくいかず、ほとんど壊滅したような恰好になりました。

その後は神戸に能楽堂がなく、その間をずっと保ってきたのが湊川の能舞台になると思いますが……。

沼 湊川の能舞台のときはよほど良いものでないと来ませんでしたけど、山手の焼けた能楽堂があった時は、当時の雑誌に特に関係しておりましたから、ほとんど毎月見に来ていました。

★レベルも高く

またまりも良い神戸、能楽界

竹馬 能楽堂建設に神戸だけでは弱いんですね。各宗派の家元が本腰入れて外からバックアップしていただかないと。また能楽師の方ばかりでなく、神戸市民の協力も必要です。

沼 能舞台を建設する時一番困るのは、自分が使わないからということにで応援しない、そういう気持ちがあることです。今おっしゃったように、必ず能の関係者は全部応援しなければならぬ。こういう大きな見地に立つということがないので、巾の広いキャンペーンが必要になります。

編集部 他の都市、例えば大阪の場合、大槻能楽堂と山本能楽堂、

それに大阪能楽会館の三つ舞台がありますね。京都はいかがでしょうか。

藤井 京都では、非常に環境の良い岡崎に一つ、それから金剛、大江、河村さんとたくさんありますよ。東京は各家元が持ちで少し相当数あります。神戸も実際、京都、大阪に次いで能楽堂が建つて良いはずなのですが……。

竹馬 現在、神戸の能楽人口はどのくらいあるのですか。

藤井 能楽人口というより、謡曲人口といいますと、七、八千ぐらいあるんじゃないでしょうか。

沼 神戸は、藤井さんの先代から手塚さんがあって、伊藤さん、上田さんが来られて、それから藤井さんがおられ、吉井さんが西宮におられる。そういうふうにはずーと後に続く人がいて、直系の人がたくさん出て来たわけですね。手塚家というのは停止してしまいましたけど、家元からの直系の良い人が入ってきてるわけです。だから家元としてもやりやすいわけですね。

藤井 確かに神戸は一色にまとまっていますし、また人数も少ないのでやりやすいということはいえますね。

沼 実力もそういうふうにして、筋のはっきりしたものを持っておられたから良かったのです。また



＜沼 艸雨氏＞

京都と非常につながりが深く、技術的なレベルが高いということもいえますね。
編集部 レベルも良いし、まとまりも良い。これから藤井先生にも中心になって頑張っていたいで能楽堂再建の動きへ持っていきたいものです。

神戸にとってはちょうど、知事市長ともに文化に関心の深い方がそろっておられるのでチャンスだと思います。坂井知事は兵庫県で文化のルネッサンスをやりたいといっておられるし、宮崎市長は名実ともに文化市長でとおっている。それが今年度の新しいスター



＜竹馬準之助氏＞

トとなっています。この機会にぜひとも拍車をかけて、能楽堂建設の方向に持っていかれることですね。

沼 今まで各地での能舞台建設の例を見ますと、こういう県とか市とかという形でまとまったのは少ないのです。どこもあまり力を入れていただけないので、能楽関係者が自らやらなければならないというのが多いですね。

竹馬 今度の知事はなかなかの文化人ですよ、理解がありますからかなり協力していただけるんじゃないでしょうか。

★天・地・人がそろった
能楽堂再建のチャンス

沼 ところで能楽堂再建の案はどの程度固まっているのですか。

藤井 一昨年のことですが、市民会館というのを造るので、芸能関係の人に一日集まってもらって、希望を聞き、舞台を作る参考にしたことからということで、相楽園で会合が持たれたことがあります。

演劇、軽音楽、日舞、能楽と二十人ほど集まりました。こちらも県民会館や市民会館に陳情していたところですから、何とか専門の能楽堂がほしいといいたいことはい었지만、毎日使うものではないから特設舞台ではどうかといわれました。しかし、専用の能舞台

でないとい何にもなりませんからね。

沼 市民会館の中には入らないわけですね。

藤井 それとは別に、理解ある知事、市長のときに援助をいただいで能楽堂を建設しようという方向でもっていきたいと思っています

それには湊川神社しかないわけです。以前から湊川の能舞台を使わしてもらっていたのですが、あまりひどいから、三十九年頃にやり直そうかという案が出て、設計書まで書いてもらったのですが、

景気の悪いときで立ち消えになってしまいました。また県や市にも再三陳情にうかがったのですが、

陳情に行きますとね、能のような呑気な陳情でなく、死活問題の陳情が廊下にズラッとならんでますでしょ、それ見て陳情も大変だなとそのままになっていたところ

が、鹿島建設の鹿島守之助会長が楠正成公と関係あることが家元の筋からわかったのです。そんなことから鹿島会長は湊川神社に力を入れておられるから、力を貸してください

くださるかもしれないということで、発起人にお願いがあがったのです。その結果、幸いなことに、

湊川神社とは深い因縁があるからできるだけのことはするが、地元の皆様にもご協力をお願いしたい

というお返事をいただいたので

す。

それで現在の状況は、土地は湊川神社に使わしてもらって、能楽関係者が相寄って能楽堂建設を行なう。そしてその能楽堂を湊川神社に寄付するという形になります。

湊川神社としては、その後の維持運営の面倒を見てくださるというところで、能楽堂を建てるのに一番心配な問題である維持運営を湊川神社の方で面倒見ていただけるということは、非常に結構な条件だと思います。従来建設された能楽堂と比較して、安心して建設にとりかかれるといえますね。

沼 能楽界の状況はどうですか。藤井 基金的なものが三千万円ぐらい決まっています。それとは別に能楽界で四千万円ほど集めていきたいと思っています。

編集部 ここまで準備ができていると、後はスタートの決意と、能楽愛好者が呼びかけて頑張ってくべきですね。

竹馬 幸い商工会議所会頭の砂野会長も玉井社長も理解があるし、私もまあいくらあるから、協力してやっていきたいと思っています。

藤井 天の時、地の利、人の和三拍子がそろってききました。

編集部 市の方ではちょうど、大倉山一帯を文化地帯にしたいという意向ですので、湊川神社に能楽堂ができるのは、理想的な姿にな

ると喜ばれると考えられます。

★ほしい古典文化

情報センターの設置

沼 経済的なことはわかりませんが、私の希望として、湊川神社に能楽堂を建てるときに、古典総合事務所を作ってほしいのです。能

や日舞など古典芸能のことなら何でもわかる、情報センターのようなものです。その費用は能楽界も負担する。能楽界のためにもなるし、一般の人のためにもなると思います。学生でも能を見たいという時、電話をかければいいし、

能はどこでやっているのかわからんというのが今の一般の風潮ですからね。

編集部 インフォメーション的なコミュニケーションの場は必要ですね。また能楽堂も大事ですけれど、その一角に稽古場も造っておくとか、入れものだけ造っても、人が集まってくれないと話になりませんからね。

竹馬 流儀とか今までの慣習は打破して、皆の協力で神戸に能楽堂をつくりたいものです。そしてまた皆が力を合わせられる組織を考えたいですね。そうしないと、せっかくの能楽堂も花が咲きません。力を合わせて頑張りますよ。

八文責・編集部／竹葉亭にて▽

新しい春はソワソワなあなた



O-SHIBATA

柴田音吉洋服店

神戸・元町4丁目南 神戸 34-0693

大阪・高麗橋2丁目 大阪 231-2106

'71



ジャンボジェット時代の男のシャツを創造します!!

賀 正



紳士シャツの店

大和屋シャツ

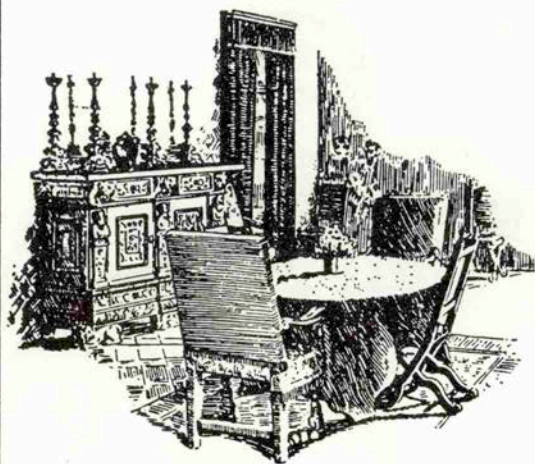
国際店☆カスタムシャツのアトリエ〈月曜定休〉

神戸国際会館1階 TEL25-0220 AM10時～PM7時

三宮店☆紳士シャツ専門店〈月曜定休〉

三宮センター街 TEL33-6956 AM10時～PM8時

家具・室内装飾・工芸品



永田良介商店

神戸市生田区三宮町3丁目大丸前 TEL 神戸 (39) 3737 (代表)

東京店・東急百貨店 (日本橋店内1階 TEL 03 (211) 0511
本店(渋谷)7階 TEL 03 (462) 3180

工場 神戸市垂水区多聞町小東山975-35
神戸木エセンター TEL (078) 76-5005(代)

1971 A HAPPY NEW YEAR

〈自然の味〉

純正材料のおいしさがひみつ



ドイツ菓子

Fuehrlein's

ユーハイム

本社 三宮店 三宮大丸前市電筋 TEL (33) 1694
さんちか店 三宮地下街スイーツタウン内 TEL (39) 3539
貿易センタービル店 三宮貿易センタービル地下1階 TEL (25) 0139
さんプラザ店 三宮センター街さんプラザ地下1階 TEL (39) 1896

★神戸の集いから

★神戸カーニバルの

感謝慰労パーティ開かれる

神戸市民のオリジナルな祭りとして五月に毎年開かれて人気を集めた神戸カーニバルも第四回でピリオドを打った。

また、昭和初期から神戸市民に親しまれた神戸みなと祭も一応今年度で終り、二つの祭りは71年度から合流して新たな、市民祭として再スタートすることとなった。

そのため十一月三十日神戸カーニバル協会は、発展解消をかねた



ごころうさん神戸カーニバル。パーティ風景。

慰労パーティを、午後五時三十分より、舞子ビラ大ホールで開催した。

宮崎辰雄神戸市長出席のもとににぎやかに開かれたパーティでは毎日新聞社神戸支局をはじめ神戸カーニバルへの協力をおしまなかつたメンバーを表彰した。

また、TEAMミュージックの「フラワールードサンバ」を小曽根実さんが弾き、山脇神戸市民生協理事長の黒田節、毎日大久保神戸支局長のみなと祭の唄、また韓国の美しい扇の舞や、貝原六一画伯のフラワールードサンバの唄などをにぎやかにきき、新しい祭への門出を祝ったのである。

★はなやかにJC昭和5年組の

卒業生謝恩会

十一月二十一日(土)午後八時からオリエンタルホテル大ホールでJC例会後に、昭和45年度卒業生謝恩会(果立ちゆく花の五年組)が開かれた。当夜の卒業生は二十三名。一人一人が紋付袴で口上を読みあげて拍手をあげた。なお、秋山武一(秋毎ゴム) 浅井二郎(そこう) 砂野耕一(川重) 王福興(明信珠) 大谷勉(大谷勉事務所) 岡浩一(ゴウ設備) 小倉宗

夫(小倉産業) 金谷庚午郎(二一四銀行) 木津雅敏(神戸金型) 清瀬啓二(大日通運) 坂井幸蔵(坂井化学) 塩見昭一(ピロン神戸) 瀬戸雄三(朝日ビール) 田口博之(サンテレビ) 樽本久(樽本汽船) 藤堂高弘(藤堂真珠) 秦秀利(山一塗装) 原田昭(原田法律事務所) 藤田恭吾(藤田歯科) 藤本昭(一富士) 丸山哲夫(丸正木材) 三輪吉郎(三輪運輸) 森本領二(森本倉庫) 以上二十三氏がそのメンバー。また当夜は神戸のクラブ・バーのママ・マスター五十名が招かれて花をそえた。



紋付袴でごきげんな神戸JC卒業生

88 誌 遊 戯 戸 神

★一万回登山塔の輝く記録

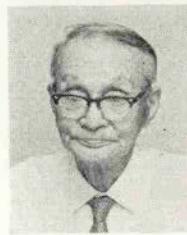
ヒヨコ登山会では毎月会報を出しているが、創刊が大正十二年二月一日でこの十月号が通算第三一九号（復刊第八八号）となっている。これにのせられた毎日登山探点表によると、会員数は再度本部四九四名、保久良山支部一三九、高取山支部一二六、旗振山支部六六、布引支部四〇、一王山支部三八の計九〇三名となっている。次に登山回数（初登山以来今日までの合計）だが、六支部を通じて一万回突破者（8月15日現在）がなんと十名、最多回数の鈴木義貴会員（再度本部）の一四、三五六回を筆頭に稲垣源次、由井一夫、長谷川 剣、橋爪 忠、津居敬造（以上みな再度本部、安福芳松（高取山支部）、安田寅一、柏木誠一（以上再度本部）、谷本一夫氏（高



ひよこ登山会会員
保久良山支部
進藤よしの さん



ひよこ登山会会長
橋 爪 忠 氏



ひよこ登山会会員
保久良山支部
三島寿之助 氏



兵庫県山岳連盟
地方指導員
沢井 重男 氏



ひよこ登山会会員
再度山本部
安田 泰子 さん



兵庫県山岳連盟
地方指導員
松原 勇 氏



高令者（70才以上）ばかりでの登山 44年9月15日再度山にて

取山支部）とつづいているが、一万回といえは約三十年間ほとんど毎日登らねば達せられぬ数字なのだから、その裏山登山実行へのあくなき信念と情熱にただただ驚かされるわけだ。レコードホルダーの鈴木氏はことしすでに73歳、創立会員でこそないが、大正14年から登り始めたもので、神港商業卒業だが、生来の病身をなおそうと若い時から雨の日も雪の日の上半身ハダカで登りつづけた。そのおかげでその後病氣などしたことがないという。第五位の現会長の橋爪氏もすでに70歳である。これら一万回突破登山を記念して去る昭和42年に旧善太郎茶屋の上に一万回塔が建てられたが、この塔には11名の会員（故人を含む）の名がきざまれている。

ところで70歳以上だけでもこの二人を含んで本会には百五十人もいるし、50歳以上が多いわけだから本会の平

裏山登山② 青木 重雄

均年齢の高さがわかる。従って今後はもっと若い会員をふやしたいというのが本会の願いである。目下盛んにこどもの入会をすすめている(会費を半額にして)のも本会のヒヨコ会員をふやしたい念願からである。最低年齢満2、3歳から最高90歳までいるのも他の登山会にない特色だろう。その一人である三島旦氏(明治13年12月生まれ、90歳、東灘区魚崎北町7丁目在住)は現在もいたって元気に登山しているが、神港商業野球部の大先輩である。ハダシでキャッチャーをしていたという草分け時代の野球人だが、青少年時代にはゼヒスポーツをやっておくこと、それが後年の健康の基だと若い人々にしきりに教えているのもこの人らしい人生訓である。死ぬまで登山するという。若手グループを若葉会、老人組を福寿会とも呼んでいるが、若手の中には日本アルプスの冬山登山や外国の高峰登山へ出かける会員も少なくない。壮年以上は夏山登山が多いが、両会とも指導員を擁して会員中の未経験者の指導に当たらせている。ヒヨコ登山会中の三割は女性会員だが(戦前はいたって少なかった)、会員同士の間に今日まで何組かの「登山結婚組」もできている。沢井重男氏(37歳)などもその一人で奥さんとは6年間山でつき合って8年前に結婚した。「山の大自然のようにすばらしくキレイな結婚ですよ」と御本人は語っている。今後もつづいて幾組もの結婚組が生まれてほしい——と古い会員たちは願っている。千人近くもいる会員たちの職業もじつに多種である。たとえば会社員、学生、先生、店主、産婆、病院長、質屋、八百屋、住職、看護婦、船員、画家、弁護士と千差万別。外人は十人ぐらいいあまり多くないが、アメリカ人、インド人、中近東諸国の人々などである。その一人H・C・シャールさん(40歳、インド人)は昭和41年春養殖真珠輸出の仕事をするため来神したが、以来裏山の緑に魅入られて毎日登山を始め同年ヒヨコ登山会に入会、これまですでに七百回以上も登っている。午前6時生田区北野町にあるマンションを青いサリールをまとった夫人といっしょに

飛び出すと、二人ともインディアンサンダルにふだん着という軽快なスタイルでフラリ、フラリと異人館がまだ少し残っている北野町の町筋を登って行く。これがシャール夫妻の一日の始まりだ。

「私考えるネ。からだの調子いいですネ。目のために一番いいです。みんなグリーンあるネ。木ある。毎日行く目のために一番いいでしょう。私、真珠の仕事、目たくさん使います。神戸来たときメガネかけていました。裏山登ってからメガネ全然いらないうです」と語る。

さらにづづけて、「山けずって、海埋める。それもグッドネ。だけど六甲の緑もつとたいせつネ。こないだカマクラの市長さん選挙で、自然と歴史の記念たいせつにする人、勝ちました。ペリーグッド。神戸の市長さんにも、それ頼みたい」——二代目市長ミヤザキさんにも十分聞いてほしい直言である。

その意味で進行中の裏山の植樹はどしどしやっけてほしい。山手女子短大の山側のカエデの大樹がガムのエンテイを作るため切られたのは惜しい。植樹は年数のかかる場合が多いから古木はなるべく残してほしいものだ。道路補修が進んでいるのも結構なことだ。ただ、公害が多いのは困りもので川にゴミを捨てたり、犬のフンや紙切れが捨てられているのは公德心の乏しい証拠。国際人コウベ市民の反省を望んでおく。

ヒヨコ登山会の輝かしい登山史の一ページをさらに輝かしたのは、昭和36年財団法人日本レクリエーション協会総裁三笠宮殿下から優良団体としての表彰を受けたことと44年11月3日兵庫県からスポーツ賞を受けたことだ。戦前の会費一円五十銭が現在は六百円、四百倍というのは他の物価の上昇率に比べて安い、この長い年月の間のヒヨコ登山会の延何万人かの会員の記録こそコウベの歴史を映す一つのカガミといえよう。

(45・11・23 夜記)

あとがき 本稿の取材にあたりまして、グーゴ登山会会長 橋爪忠氏はじめ、三島寿之助、安田泰子、進藤よしの、沢井重男、松原勇諸氏の協力をお願いしました。